

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度 第1回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	平成28年7月25日（月曜日） 午後3時30分から午後5時まで
3 開催場所	ながおか市民防災センター 2階 研修室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>高野礼子委員長、兒玉優子副委員長、池田浩委員、 西山宗彦委員、桃生鎮雄委員、高橋呈子委員、相澤直広委員、 加藤秋子委員、河野瑞枝委員、榎園早苗委員、成田涼委員、 田邊香織委員、佐藤紫野委員、横澤勝之委員、諏方浩二委員、 木村春美委員、ジョーンズ文穂委員、内藤純子委員、 長谷川直子委員</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>小池由佳氏</p> <p>(事務局)</p> <p>子ども未来部：波多文子 政策企画課：林智和 市民活動推進課（男女共同参画推進室）：堀川雄一郎 商業振興課：関口久美子 学校教育課：淡路弘幸 保育課：大野宏、石田美智子、大竹美加、高杉雄二、佐藤陽子 子ども家庭課：大矢芳彦、梅沢一茂、五十嵐涼子、小林恵美子、 鷲頭和也、井口陽子、小林広子、小黑駿也</p>
5 欠席者名	片桐直子委員
6 議題	<p>(1) 委員長・副委員長の選出</p> <p>(2) 平成28年度長岡市子ども・子育て会議について</p> <p>(3) 長岡市の子育て支援施策について</p> <p>(4) 子ども・子育て会議ワーキング部会について</p> <p>(5) アドバイザーからのお話</p>

<p>7 会議結果の概要</p>	<p>(1) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が高野礼子委員を委員長に指名した。 ・高野礼子委員長が兒玉優子委員を副委員長に指名した。 <p>(2) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.1、2に基づいて説明した。 <p>(3) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.3～5に基づいて説明した。 <p>(4) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が資料No.6～8に基づいて説明した。 ・ワーキング部会に参加した委員から意見や感想などを述べた。 <p>(5) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーから、今求められている子育て支援と長岡市の子育て支援策についてお話しいただいた。
<p>8 会議内容</p>	
<p>(1) あいさつ</p> <p>(2) アドバイザー及び委員の紹介</p> <p>(3) 議事 (1) 委員長・副委員長の選出</p> <p>(4) 議事 (2) 平成28年度長岡市子ども・子育て会議について 資料No.1、2に基づき説明</p> <p>(5) 議事 (3) 長岡市の子育て支援施策について 資料No.3～5に基づき説明</p> <p>(6) 議事 (4) 子ども・子育て会議ワーキング部会について 資料No.6～8に基づき説明</p> <p><議事(4)についてワーキング部会参加委員の御意見・御感想> (委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな分野の方がいろいろな形で携わっていると感じ、自分もワーキング部会に参加する中で勉強していきたい。 ・アレルギーの子どもを持つ親として、アレルギーを持つ子への配慮についても話がでていてありがたかった。何かあった時に安心して利用できる「あんしんの避難所」になればと思う。 	

(7) 議事 (5) アドバイザーからのお話

・長岡市の子育て支援策について

「長岡市子育て・育ちあいプラン」等資料の内容と、事務局からの説明を聞き、長岡市は今求められている国の子育て支援の方向性を先取りし、いち早く取りかかっていると感じた。

これから先、子どもの数が減っていくのは避けられない現実であるが、その中でどういった支援策を講じていくかが課題である。

子育て支援に関して、長岡市は子育ての駅で一時預かりを実施していることについて、子育ての駅は普段親子で訪れる場所であり安心感があるためとても有効である。

また、子育ての駅等「居場所」へのアクセスのしやすさも重要で、乳幼児を連れて行きにくい遠いところにあると活用されないため、拠点の4駅のほか、合併地域すべてに駅が設置されたことは有効だと思うが、どのように活用していくかが重要であり、今後の課題ではないか。

子育ての駅における相談について、当事者性の相談と専門職の相談の2種類あるが、保護者のニーズに合わせて両者が有効に機能していくとよい。

保育園について、子どもの人数が少なくなると質の低下につながることもある。施設の量の確保と保育の質の担保の両方が必要である。

ワークライフバランスについては、企業側への働きかけが重要であり、いかに協力してもらえるかがカギとなる。

・ワーキング部会について

今後実施するワーキング部会の中で、「ライフデザイン」があるが、このワーキングにはぜひ保護者の声を入れてもらいたい。親が子に対しどのような人生を送ってもらいたいかという声も入れ、また、子育て中の親が今どんな生活を送っているかなど、子育てについて語っていただければと思うので、ぜひ公募委員に参加してほしい。

(8) 閉会あいさつ

(出席委員の署名欄)

上記会議議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名をする。

長岡市子ども・子育て会議 委員長

印